



① @ワンダー

「@ワンダー(アット・ワンダー)」は、店名そのままに掘り出し物に興奮するサブカルチャーの古書店。コンセプトは"20世紀の記憶装置"。映画、SF、ミステリー、スポーツの分野で、絵葉書や芸能雑誌、ポスター、パンフ、チラシまで幅広く扱う。昭和61年(1986)の開業以来、我々の琴線にふれるために圧倒的な支持を集める。面白本コーナーは毎日入れ替わる"名所"だ。店内に展示する映画ポスターも見ただけで楽しいと、毎日来店する人もいるそう。店主は買い入れにも力を入れる。大量の場合は出張買取もOK。

03-3238-7415
千代田区神田神保町2-5-4 開拓社ビル1・2F



② 永森書店

戦前の古地図や日本の郷土史、植民地史料を含む戦時の史料などを専門に扱う書店。同系統の書籍を扱う泰川堂書店の次男が経営する店で、より安価に、そして旅行案内の小冊子や絵葉書などといった細かいものにも着目している。お値段も手ごろでかさばらず、気軽に手に取ることのできる絵葉書は、それが作られた当時の土地の景色や風俗、流行などを色濃く反映する小さな芸術品である。年に3回発行される目録はカラー写真が多い。ふと見つけた一枚の絵葉書が、懐かしいどこかとの再会、はたまた見知らぬどこかとの出会いになるかもしれない。

03-5213-8010
千代田区一ツ橋2-6-12 上村ビル1F



③ 文華堂書店

日清戦争以降の戦争関連書籍を専門に扱う店として、神田でもピカイチの知名度を持つ。店先から店内奥まで戦争関係の本がびっしり置かれ、狭い通路前には本探しに没頭する人びとが折り重なるように並ぶ。戦史をはじめ、武将の伝記、外交史、連隊史、洋書、雑誌のバックナンバーなどがジャンルごとに配列されておりまさに戦争関連書籍の宝庫。時が経ち、最初は軍隊経験者がメインだった客層も広がりを見せ、船、飛行機、戦車など乗り物関連の書籍も充実。架空とはいえ戦争を扱っているからか、アニメのガンダム関連書籍が並んでいることも。

03-3262-0422
千代田区神田神保町2-3-12



④ みわ書房

「みわ書房」は、「親子で来られる古本屋」がモットーの児童書専門店。子ども向け絵本と読み物、大人向け児童文学評論、絶版の古書を扱う。子供向けの読み物は、内外を問わず、古典から現代文学までカバーする充実ぶりが店の柱。これが書棚の半分以上を占める。『世界名作選』『日本児童文庫』シリーズなど、戦前に出版された貴重な名著も手頃な価格設定。装丁も美しく、美術関係者で買い求める人も多い。「今は浦島太郎もアニメになるけど、やっぱり日本の古典文学や民話は日本人らしい挿絵の絵本で読んでほしいですね」(店主)

03-3261-2348
千代田区神田神保町2-3 神田古書センター5F



⑤ 泰川堂書店

NHKの番組「プラタモリ」にも登場し、「古地図といえここ」と知られるようになった「泰川堂書店」。明治40年(1907)の創業から「紙モノ」にこだわる老舗だ。古地図以外に絵葉書、古写真、ポスターなど「視覚的にその当時の様子が分かるもの」(店主)を豊富にそろえ、鉄道関係、産業史にも力を入れる。絵葉書や時刻表がレコード屋の棚のように並べられ、とても見やすい。江戸東京関連も充実。目録は年6回発行。「紙モノはだましもあるが、印刷された内容でなく、紙と絵具を見ると作成した時代がだいたい分かります」(同)

03-3264-2780
千代田区神田神保町2-3 岩波書店アネックス2F



⑥ 明倫館書店

理工学・自然科学系の学術専門店で、数学関連は随一の品揃え。学術書が多く、硬い店というイメージもあるが、実は読み物、趣味的な本や雑誌も扱っている。古いラジオや時計の修理の本や、建築関係の意匠・デザインを扱った名著などは、値段によらず入荷すればすぐ出てしまうほどの人気。店頭の特価本にはいつも人が群がって、回転が変早い。オーディオ、無線関係の本を探すマニアは必ずと言っていいほどこの店を訪れる。ホームページにも力を入れていて、顧客が探している本が見つかったらメールで連絡するサービスも行っている。

03-3294-0446
千代田区神田神保町1-9



⑦ 書泉グランデ

戦後まもない昭和23年(1948)の創業以来、「常に業界の第一線を歩む近代的書店」を自負する「書泉グランデ」。現在、各店舗で常備する新刊書籍・雑誌等の総数は280万冊以上。目指すのは、「読みたい本がすぐ手に入る」理想の書店という。作家のサイン会、フェアなどの企画催事も随時開催。1〜7階までである中で、6階のフロアには、特に鉄道関連書籍や関連商品が並び、特に充実している。また、7階のイベントスペース「SHOSEN+」では、各種イベントを開催。イベント開催時以外は無料でスペースの貸出も行っている。

03-3295-0011
千代田区神田神保町1-3-2



⑧ 悠久堂書店

美術展目録、料理本、ビジネス書などニッチ分野で日本一を狙う古書店。山岳関係の本と動植物の本の品揃えも豊富。1階は美術と食のフロア。美術好きの日本人の支持が絶大なのはもちろん、海外、特にアジアの美術好きな外国人旅行者も美しい日本の印刷物を求めてたくさん訪れており、その数は全体の一割にも達する。料理本の品揃えはプロの料理人も信頼するほどで、上の世代の情報を集める若い女性たち向けに古い『暮らしの手帖』なども用意している。2階は山と動植物のフロア。新刊から古本まで様々で、山の雑誌のバックナンバーも揃う。

03-3291-0773
千代田区神田神保町1-3



⑨ 軍学堂

当初は通信販売店舗であったが、平成22(2010)年に神保町に店舗をかまえた「軍学堂」。名前の通り軍事・戦争関連の書籍を専門とする古書店。「軍事・戦争の歴史について学びたい、知りたいと思う方々の力になれば」と店主は語る。また戦史以外にも、当時の資料や、兵器、皇室、諜報などに関する書籍も扱っている。戦争に関する書籍の扱いに加えて、「軍学講座」と題した講演会を定期的に主催しており、人気を集めている。

03-3233-7677
千代田区神田神保町1-1 倉田ビル2F



⑩ 矢口書店

大正7年(1918)創業、昭和3年築の木造3階建て店舗は、古書店街・神田神保町の風景を堂々と特徴づける。「映画・演劇・シナリオ・戯曲」と書いた看板を掲げ、その専門分野で無類の商品量と品ぞろえを誇る古書の老舗、「矢口書店」だ。「新しいものが氾濫するこの時代、昔の写真が見たいと、古いものを遡って欲しがる人が多い」と店主。映画・演劇関係者も数多く訪れる。『月刊シナリオ』『キネマ旬報』など雑誌の既売号も充実。映画ポスター、パンフレットも扱う。寄席演芸専門情報誌『東京かわら版』も販売。

03-3261-5708
千代田区神田神保町2-5-1



⑪ 農業書センター

日本で唯一の農業所専門の書店、「農業書センター」。平成26年(2014)に大手町ビルから移転し、現在の場所へ。農業に関する書籍を約36000冊販売しており、一般書店では入手することの難しい専門書も扱っている。技術書、専門雑誌から料理本や園芸の本まで、店頭に並ぶ本は多岐に渡る。専門家でなくとも十分楽しめる店である一方、マニアックな本も多く、訪れる度に新たな発見がある。スタッフの方に声をかければ、本選びの相談にも快く応じてくれる。店へ続く階段はギャラリーになっていて、そちらもおすすめ。

03-6261-4760
千代田区神田神保町2-15-2 第1富士ビル3階



⑫ けやき書店

昭和62年(1987)開業の「けやき書店」は、「文学好きにはたまらない品ぞろえ」で一目おかれる。芥川・直木賞作家、明治~現代の初版本や限定本、直筆書簡類、初出雑誌を扱う近代文学の専門店だ。特に太宰治、坂口安吾ら無頼派の初版本が充実。現在、活躍中の作家はサインの有無がポイント。同店によると村上春樹、京極夏彦、宮部みゆき、高村薫の署名本は特に人気が高く、さらに別格が金原ひとみ、綿矢りさ。目録は年4回発行。「本の発送先は自宅宛で、目録は一刻も早く見たいから会社に通って、という人もいますよ」(店主)

03-3291-1479
千代田区神田神保町1-9 ハヤオビル6F



選んだスポット



つながるスポット

Copyright(c) NPO 法人連想出版

